

虹
こんにちは
平井明美です

連絡先
議員団・電話
998-9278
自宅・電話
948-6077

しんぶん
赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月800円

学校に冷房 一歩前進

「基地騒音」の若狭や 東狭山ヶ丘から設置へ



金木犀の香りが秋の深さを感じます。第三回議会では「日の丸を議場に掲げて欲しい」などの請願に、共産、民主、社民・女性・さわの会、市民ネットなど十二名の議員が欠席のまま、21ギ員クラブが、強行採決。議会の民主主義のあり方が問われました。また、国が来年度予算で百億円の空調設備費をつけたことで、学校の冷房設置にむけて見通しがつきそうです。

室の冷房化に国が百億円の予算をつけました。そこで、基地騒音など特殊な地域は防衛庁にも働きかけ一刻も早くクーラーなど空調設備の設置すべきだと質問しました。教育総務部長は「実施する場合には、若狭・東狭山ヶ丘など飛行機騒音など影響のある学校から整備していく」と答え、クーラー設置にむけて一歩前進したようです。

議場で一般質問する平井議員



今年の夏の暑さは格別でした。入間基地のそばで航空機騒音に悩まされる若狭や東狭山ヶ丘地域の地学校は、窓を開ければ騒音、閉めると40度にもなり、先生も生徒もぐったりして勉強などが身に入らないといえます。文部科学省が公立の小・中学校の普通教

少人数クラス

志木市の視察

議会終了後

六月議会で市長が約束した、小教クラスを実施している志木市への視察は、「九月議会終了後、日程調整してみたい」と答弁。市長の今後の動きに注目したいと思えます。



バイパス沿いで県職員に

説明する平井議員



バイパス463号線

大雨の被害に、県が改善約束

国道463号線問題で、県・川越土木と市職員が和ヶ原・若狭地域のバイパス沿いを九月末、現地調査しました。今までは静かな住宅街が、バイパス開通後は、多量の自動車の通過で騒音や振動、自動車の排気ガスによる大気汚染の音が上がっていました。また大雨が降ると側溝や用水路から水があふれ、道路冠水や床下浸水の被害も受けていました。平井

議員が市議会でも取り上げ、連携して柳下県議も県議会で質問。また日本共産党三ヶ島支部と住民が協力して、三百人からの署名を集め、やっと県が動きはじめました。調査では県有地内に浸透井の設置、側溝のふたをグレーチング(網状)に交換など約束。また騒音については、「高機能舗装」による道路舗装を国の補助金などと合わせて検討する旨、改善を約束しました。

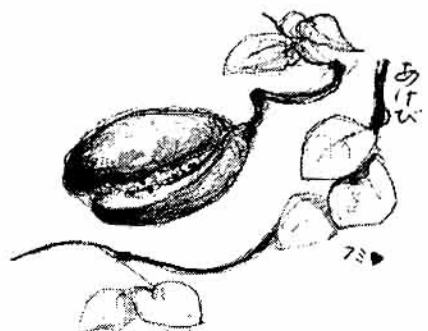
利用料高い67% 切実なお年寄りの声

《介護保険》の充実を

介護保険の見なおしに向けた、二千八百人の市の実態調査では「介護保険制度がよく分からないう」が70%、介護保険で一番困ったことは「利用料の負担が高い」が67%です。そこで私は「市長は『介護保険が導入されても福祉サービスは後退させない』と公約したが、調査に見られる

お年寄りの声にどう応えるのか！また推進会議で保険料の値上げが提案されているがやめるべきだ」と質問しました。市長は「保険料を払えない高齢者は生活保護で対応していく」など実際には不可能な答弁です。「保険料の見なおしは推進会議で議論を」など答へ、お年寄りの切実な

声に向かい合おうとしません。その他、①保険料の減免や介護手当などの創設②利用料の助成制度の拡大③公的ヘルパーの充実と研修のあり方など介護サービスの抜本的問題の見直しを求めました。



生活相談は
平井明美に！